

税制調査会（第24回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：令和5年5月29日（月）15時00分

場 所：財務省国際会議室（本庁舎4階－南434）

○記者

それでは、会見を始めさせていただきます。

○中里会長

よろしくお願いいたします。

○記者

それでは、本日の議論について、現段階で紹介いただける範囲でどういったことが今議題に挙がっているのかと、今後の取りまとめに向けた見通しなど、現状について御紹介いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○中里会長

分かりました。

今日の総会は、主として総論的な事項について委員の皆様から忌憚のない率直な御意見をいただくため、慣例に倣いまして起草会合ということで非公開とさせていただきます。プレスの皆様には御出席を控えていただくことになりましたが御理解をいただければと思います。

先ほど申しましたとおり、答申の総論的な部分に関して、こちらで作成しました具体的な文案を提示し、委員の皆様の御意見を頂戴しました。いまだ議論の途上でございますので、現時点において議論の詳細を申し上げるといのは差し控えますが、今日は、近年の税制改革の流れや経済社会の構造変化等、総論的な点について、実に様々な率直な御意見をお聞きできたのではないかと思います。

個別税目の議論につきましては、事務局から、昨年秋に行われた議論の振り返りがあり、それに基づいての議論が行われましたが、主眼はあくまでも総論的なところでございました。

次の開催は6月上旬の見込みでございます。今回と同様に次回も起草会合ということで開催させていただくこととさせていただきます。

以上でございます。

○記者

ありがとうございます。

具体的な税目や詳細は伏せるということでしたが、大きなジャンルといたしますか、今回のテーマとしてどういったことを示していきたいとお考えで今日の総論になりましたか。

○中里会長

実に多数の委員の皆様から御意見が出まして、一つのテーマについてのみかんかん

がくがくという感じではなく、多様なテーマについて、私はこう思う、私はこう思う、私はこうも思うと。何十名ぐらいになりますかね。数えていなかったのですが。

○事務局

23名ぐらいは。

○中里会長

30名までは行っていなかったと思いますが、皆さん、時間もお一人5分とかお話しになりました。ごく率直に、この文章はおかしいとか、そういうことも含めて実に様々な御意見を頂戴して、頼りになるなと思った次第です。

私の性格なのかもしれませんが、表現が控え目になってしまうところがございませうけれども、激励をいただいたり御批判を頂戴したり、論文の審査を受けたときのよな、冷や汗ものというのか実に勉強なつたと、そんな感じですよ。遠慮のない御意見を頂戴したということです。

○記者

今日、起草会合の1回目ということで、次回も起草会合ということで、あと何回ぐらい取りまとめまで開かれますか。

○中里会長

進展によって、あるいは修正によって違ってきますけれども、あと数回必要ではないかと思ひます。流れの中でそこはフレキシブルに判断していきたくと。

私の発言には、アドホック、フレキシブルが多いのですが、それが一番現実的だと思ひうのです。あらかじめ決めたスケジュールの中で「どうしてもこれでいくんだ」というのはやはり無理がありますから、その時々の流れの中で必要なものを入れ、修正すべきところは修正して、皆さんの御意見を承りながらという、それが一番無理のない形だと思ひます。特に論者を集めていますので、そういう多くの方々、強い御意見をお持ちの方もいらっしゃると思いますので、そこを整理して一つの方向性を示すときには、そういうステップ・バイ・ステップの考え方がよろしいのではないかということで、あらかじめ計画を立てて、これで行くんだというわけにはなかなかいかない。行くべきではないと思ひております。

○記者

前回の総会の際に、多くの委員の方から租税原則に関して十分性を盛り込むことが必要ではないかといった意見があったと思ひのですが、今回、その点についてどういった御意見が出のでしょうか。

○中里会長

いろいろな点について御意見がございました。ただ、一つのフレーズを捉えたら、中期答申がその方向に決まるとか、あるいは、一つの原則を掲げたら税制改革が今後全てもうまくいくとか、そういうものではございませぬので、いろいろな意見があるなということで謙虚に承ったという感じですよ。

○記者

充分性についてこうした方がいいみたいな、具体的な意見というか、そういう感じではなくて。

○中里会長

それは、前回充分性ということが出ていましたけれども、私が現実的過ぎるのかもしれないませんが、充分性と唱えると十分な税収が入ってくる、そういう魔法の概念ではないだろうということで、皆さんも、例えば、充分性の原則を家庭内で主張したら、そのとおり自分の収入が増えるとかそういうものではございませんので、これは流れの中でということですよ。ただ、お気持ちとしていろいろな方がいらっしゃったということではないかと思えます。

今日のお話を、ネットの御発言もございましたので、くぐもって聞き取りにくいところもございまして、全部振り返ってレビューしていないものですから、今後、ゆっくりとかじっくりと御意見をもう一度繰り返してお聞きしてみたいと思っております。

○記者

先ほど、総論の文案について、表現が控え目になったところについて叱咤激励があったということなのですが、差し支えない範囲で、どういう点に委員の皆さんの御関心が集まったかを教えてください

○中里会長

特にこの表現をということではなく全般的に見ると、人によるのですが、控え目な方がいいという方もいらっしゃいますし、強い方がいいという方もいらっしゃいます。だから、特に私が叱られたとか、そういうことではなくて、神野会長代理ともお話ししたのですが、全般的には、個別の点についての御意見を頂戴したという感じで、全体的にこれを全部直せとか、そういうことはございませんでした。

[終了]